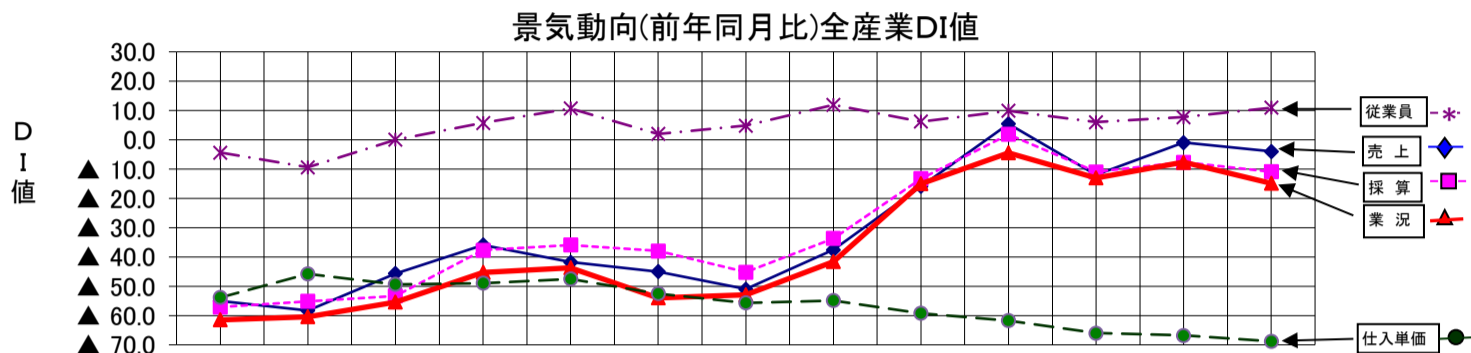


早期景気観測調査 新潟商工会議所管内 8月分

【8月の概要】 原材料高騰とウイルス感染再拡大による影響大 景況判断指数が全ての項目で悪化

景況判断を示すDI値は、全ての項目で悪化（従業員DIは人手不足局面へ）。向こう3か月間の先行き見通しについては、売上、業況、仕入単価では悪化している。寄せられたコメントでは、引き続き木材・鋼材や燃料等の高騰による影響が大きく、さらに便乗値上げの動きもみられる。新型コロナウイルス感染再拡大が、今後のイベント等の自粛に繋がっており、その影響が様々な業態に及んでいる。ワクチン接種の加速によるウイルスの早期抑え込みに期待するが、コロナ禍の出口はまだまだ遠い状況。



【全産業平均DI】 ※DI(景況判断指数)=(良い割合)-(悪い割合)

	2020年8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	2021年8月
売上	▲ 55.0	▲ 58.3	▲ 45.7	▲ 35.9	▲ 41.8	▲ 45.0	▲ 51.0	▲ 37.6	▲ 15.9	5.4	▲ 12.0	▲ 1.0	▲ 4.0
採算	▲ 57.1	▲ 55.2	▲ 53.3	▲ 37.7	▲ 35.9	▲ 38.0	▲ 45.2	▲ 33.7	▲ 13.3	1.8	▲ 11.0	▲ 7.7	▲ 10.9
業況	▲ 61.5	▲ 60.4	▲ 55.4	▲ 45.3	▲ 43.7	▲ 54.0	▲ 52.9	▲ 41.6	▲ 15.0	▲ 4.5	▲ 13.0	▲ 7.7	▲ 14.9
仕入単価	▲ 53.8	▲ 45.8	▲ 49.4	▲ 49.0	▲ 47.5	▲ 52.5	▲ 55.7	▲ 54.9	▲ 59.2	▲ 61.7	▲ 66.0	▲ 66.8	▲ 68.8
従業員	▲ 4.4	▲ 9.4	0.0	5.7	10.7	2.0	4.8	11.9	6.2	9.9	6.0	7.7	10.9

- ・プラス幅が増加したDI値：従業員3.2ポイント（人手不足局面へ）
- ・マイナス幅が増加したDI値：売上▲3.0ポイント、採算▲3.2ポイント、業況▲7.2ポイント、仕入単価▲2.0ポイント

向こう3か月間の先行き見通し

	売上(受注・出荷)	採算	業況	仕入単価	従業員
6月	▲ 8.0	▲ 12.0	▲ 11.0	▲ 33.0	8.0
7月	3.9	▲ 10.6	▲ 4.8	▲ 35.6	14.4
8月	0.0	▲ 6.9	▲ 5.0	▲ 36.6	8.9

- ・見通しが改善したDI値：採算3.7ポイント、従業員▲5.5ポイント（需給均衡局面へ）
- ・見通しが悪化したDI値：売上▲3.9ポイント、業況▲0.2ポイント、仕入単価▲1.0ポイント

【業界から寄せられた主なコメント】

建設業	建設	ウッドショックに便乗した値上げが起きている。
	設備工事	少しずつ受注の回復傾向が見え始めているが、コロナ感染者の急増による影響が心配である。
製造業	鋼材	資機材価格が上昇するとともに納期も遅れており、工程管理や顧客への説明に気を遣う。
	鉄工	原材料、原油価格の高騰が懸念される。コロナ感染拡大の影響に不安がある。
卸売業	青果	台風等の影響もなく順調であるが、依然として業務用需要は低迷しており、今後の回復も期待できない。
	建材	前年度工事の工期延伸の為、7月は受注増となった。
小売業	印刷等	イベントが開催できないと苦しい。今後を考えECサイトを準備中。
サービス業	システム	顧客である中小金属加工業の景気が多少ではあるが回復しているのを実感している。
	タクシー	夏イベントが殆ど中止されているため業績上昇の目途が立たない。最低賃金見直しも不安材料。
	写真	コロナ感染再拡大で、イベントの縮小・延期が再発傾向。秋の繁忙期への影響が懸念される。